



R.I. 第2620地区 静岡第1グループ
三島西ロータリークラブ

週報

第2359号

事務所 静岡県三島市泉町9-8
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 藤江 康儀 幹事 森藤 賢



広重版画より 三島 朝霧

第2431回例会

2025.9.4晴

司 会 山本孝介君

国歌斉唱 四つのテスト

ロータリーソング 「奉仕の理想」
指揮 渡邊真生君

会長挨拶 会長 藤江康儀君

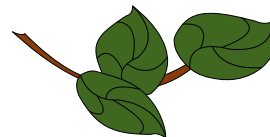
こんにちは、今月は基本的教育と識字率向上月間です。
私たちロータリアンは、これを機会に世界中の子ども達や成人の皆様が基本的な教育を受け、読む書くことができるように支援する重要性を再認識することが必要であります。
お陰様で、日本の識字率は世界的に見てもほぼ100%に近いとされております。これは、戦後の義務教育制度が充実し、国民全体に高い読み書き能力が浸透したことによるものです。教育は、個人の未来を拓くカギであり、社会の発展と平和の礎です。特に識字率の向上は健康、経済的自立、そして社会参加の促進に直結します。私は、教育とは、学校での教育、家庭教育、そして、我々が関われる社会教育だと思っています。

- 1.仕事に関する学習(職業・社会奉仕委員会)
 - 2.スポーツや趣味の活動(今やろうとしているアーバンスポーツ)
 - 3.地域貢献(学んだ知識やスキルを地域社会に還元)
- このようなことから、私たち一人一人ができることは、資金援助やボランティア活動を通じて、教育資源を必要としている地域やコミュニティに手を差し伸べてゆくことだと思います。先週から古着でワクチンと唱えて収集しております。皆様方とできることから一つ一つ我が三島西ロータリークラブとして存在感を示していきたいと思っています。
来週は、ガバナー公式訪問です。100%出席で迎えたいと思います。のでご協力のほどよろしくお願いいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	メンバー	修正出席率
前々回	32/45	71.11%	34/45	75.56%
今回	42/50	84.00%	会員総数	54名

欠席者 赤池君、芦川君、上野君、窪田君、須田君、
諏訪部(行)君、諏訪部(照)君、野田君



幹事報告

幹事 森藤 賢君

- 本日は理事会が行われました。
10/5スナッグゴルフ大会について等
1. 本日の卓話はクラブ広報委員長 秋山恭亮 君です。よろしくお願いいたします。
2. テーブルにあります「こども食堂」の募金をお願いいたします。(7月分16,479円 8月分19,213円)
3. 古着deワクチンについて
古着の回収を行っておりますので皆さまご協力をお願いします。最終受付は9/25の例会までとさせていただきます。
4. 本日の食事の残りは0食です。
5. 次回例会は9月11日(木)18:30~ 稲葉ガバナー公式訪問になります。

2025~2026年度
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツォ

UNITE FOR GOOD

おめでとう

会員誕生日 増田君

入会記念日 鈴木(正)君、遠藤(眞)君、増田君、
秋元君

スマイルボックス

8月28日のスマイル

- ◆藤江君、本日はガバナー補佐公式訪問です。堀内ガバナー補佐、ご苦労様です。よろしくお願いいたします。
- ◆木村君、念願の海外旅行に行ってきました。ザルツブルク音楽祭でウィーンフィルを聴いてきました。とても素晴らしい経験をしました。
- ◆鈴木(正)君、お盆休みに子供たちが帰省(4家族のうち3家族)したので、私の喜寿のお祝いをしました。1月に76歳になり、今は77歳の人生を歩んでいるんだと話したら、お父さんはあいかかわらず理屈っぽいと言われました。
- ◆秋山君、プログラミング教室の生徒がプログラミングの全国大会を突破し世界大会に出場することになりました。小学校低学年で2人出場します。また、世界大会出場はできませんでしたが高学年が5位入賞、中学生が4位入賞をはたしました。世界大会出場の2人は現在鋭意準備をすすめています。皆さま、応援お願い致します。
- ◆諏訪部(行)君、先日、妻と新潟長岡の花火大会を見してきました。ものすごい規模の花火で、感動しました。
- ◆千葉君、こんばんは水泉園(白滝公園)の桜川の浅瀬に川床を貼って、イタリアンを楽しんでいます。“川床と言えば三島”はセンエツとしても“三島の夏といえば大社の祭りと川床”と言われるようになることを祈って。
- ◆遠藤(眞)君、人間健康が一番です。
- ◆上野君、本日途中で退席させていただきます。申し訳ありません。
- ◆関本(文)君、先週欠席しました。ゴメンナサイ！
- ◆古屋君、私の人生、残り50年で何を貢献しようか考えていたらバッジを忘れました。
- ◆Cテーブル、7/31Cテーブル会があり、差額が出たのでスマイルします。

9月4日のスマイル

- ◆橋本君、今月は誕生日の月です。健康への回帰を目指してもう少しがんばりたいと思います。よろしく！
- ◆室伏君、スマイルが少ないので協力いたします。例年9月に入り夏バテしますが、今年は乗り切れそうです。

卓 話

三島西ロータリークラブ 広報とDXの取り組み

広報委員長 秋山恭亮君



今年度は川名委員長を中心にクラブ戦略特別委員会が発足し、DXチームと広報委員会が連携して活動のデジタル変革を進めます。DX(デジタルトランスフォーメーション)は単なるデジタル化(紙やアナログをデジタルに置き換えること)とは異なり、仕組みややり方そのものを変え、便利さや効率を高める取り組みです。例えば週報をPDFにするだけでなく、会員専用ページに掲載し過去分も検索できるようにすることがDXです。

身近な例として、銀行のネットバンキング、タクシー配車アプリ、病院のオンライン予約があります。これらは単なる置き換えではなく、利便性を飛躍的に高めています。

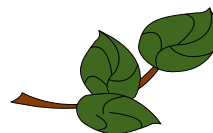
漁業の事例では、高齢の漁師に防水スマホと専用アプリを配布し、市場価格や需要をリアルタイムで確認、直接注文を受けられる仕組みを導入しました。当初は「スマホは難しい」と拒否感がありましたが、隣港の高値を狙って出港し収入が1〜2割増えるなど効果を実感し、普及が進みました。成功のポイントは、操作を簡単にし、利益を見える化したことです。

クラブ活動におけるDXのメリットは、印刷・配布コスト削減、情報更新の即時性、過去資料の容易な検索、出張先からの情報確認などです。注意点は、誰でも使える簡単な仕組みにすること、初期から利便性を実感できる設計にすることです。

今年度の取り組みは、

- ①ホームページの再構築(外部依存を解消し内製化)、
- ②週報のデジタル配布(希望者には紙も提供)、
- ③会員専用オンライン資料庫の整備(例会記録・写真・行事案内をオンライン化)です。

DXは難しいITの話ではなく、活動をより便利で楽しくする工夫です。「誰も取り残さないDX」を合言葉に、三島西RCの活性化を進めていきます。



(週報担当:小塚英樹)